

（1-6）浜松市上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」による広報活動 ーデジタル広報ツールのPR活動と活用の取組ー

○竹田 俊介(浜松市上下水道部) 高橋 侑里(浜松市上下水道部)
佐伯 高志(浜松市上下水道部) 安藤 誠二(浜松市上下水道部)

1 はじめに

浜松市では、例年、小学4年生を対象とした浄水場見学や体験ブースを設けた上下水道フェスタ等による接触型、体験型のイベントを中心に広報活動を行っていた。しかし、これら接触型、体験型の広報活動は、この2年間、コロナ禍の影響により中止を余儀なくされている。

このような状況を打破するため、浜松市ではコロナ禍に対応した非接触型のデジタル広報を推進している。デジタル広報の基本ツールとなるホームページにおいて、従前は簡易的な内容を示したキッズページ(旧サイト)を公開していたが、内容を充実化させ、インパクトのある新サイト『浜松市上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」』を2022年3月に公開した。今年度からは、この新サイトをデジタル広報ツールの柱とし、新サイトのPR活動と活用を進めている。一方で、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で、体験型・接触型のイベントを徐々に再開できるよう準備を進めている。これらイベントの中でも新サイトを関連付けて、ウイズコロナ、アフターコロナに対応したハイブリッド型広報活動のツールとしての活用も併せて検討している。

本論文では、新サイトのPR活動と活用の取組及びその成果について報告する。

2 新サイトの概要

新サイトは、親しみやすいキャラクターの上下水道部職員“ヨシズミさん”、小学4年生の“てんさん”、“りゅうさん”の3人が浜松市の水道・下水道の秘密を探るというストーリーで展開される。全体を通して、小学生ならではの素朴な疑問に答えるような内容で、水道・下水道の仕組みや役割を分かりやすく紹介している。また、ドローン等で撮影した動画やクイズコーナーも提供している。

キッズサイトと銘打っているが、子どもだけでなく大人も興味を持って浜松市の水道・下水道を知ってもらえるような内容になっている。

3 新サイトのPR活動

新サイト公開後、各種PR活動を展開している。

- ・約300ヶ所にプレスリリース(新聞等に掲載)
- ・市公式SNS(Facebook、Twitter)で情報発信
- ・市内約100ヶ所でポスター掲示、チラシ配架
- ・市内各戸配布の広報誌に掲載
- ・ラジオ、テレビで市長による紹介(トップセールス)
- ・名刺裏面にPRデザインを印刷(職員みんなでPR)
- ・コロナ禍で浄水場の見学ができなかった
市立小学校約100校の4～6年生全員(約22,000人)にPRシールを配布 等



＜配布したPRシールのデザイン＞

4 新サイトの活用

(1) 小学校教育での活用

授業で使用される教員用のパソコンに本サイトへのリンクを設定し、簡単にアクセスできる環境を整備した。また、小学4年生の授業で使用されている教科書と新サイトとで対応している箇所を示した資料を小学校に配布し、市立小学校の社会科担当教員約100名に対してプレゼンテーションも行った。これらの活動を経て、新サイトを活用した社会科の授業が一部で開始されている。



<教員向けにプレゼン実施>



<新サイトを活用した授業の様子（テレビ取材あり）>



(2) 上下水道フェスタ(イベント)での活用

浜松市民を対象に実施した令和3年度の広聴モニターアンケート調査では、上下水道の広報活動形態として「体験型の活動とデジタルな活動の両方」を希望する回答数が最も多かった。この希望に応えるため、本年度は十分なコロナ感染症対策を行った上で、3年ぶりに上下水道フェスタを開催予定である(令和4年9月)。今回のフェスタでは、タイトルを『上下水道フェスタ～「すいすいクラブ」でSDGsを学ぼう!』とし、本サイトに関連した水道事業におけるSDGs推進の取組についてもPRを行う。例えば、本サイトで紹介している24時間365日の運転管理体制に関連して、フェスタではタブレットによる運転監視の体験コーナー(SDGsのゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」への取組)で最新技術を紹介する等の企画を検討している。このように、新サイトは、体験型の活動とデジタルな活動の両方を兼ねるハイブリッド型広報活動のツールとしても活用ができる。



10月の口頭発表では、本フェスタの実施報告も併せて行う予定である。

<上下水道フェスタのタイトルデザイン(案)>

5 成果

新サイトの公開当初から様々なPR活動を継続的に行った結果、新サイトへのアクセス数は旧サイトの1ヶ月平均と比較して1ヶ月目で約14倍、2ヶ月目で約18倍に増加した(図1)。

また、新サイト内で提供している動画「浜松の水道」の再生回数は、公開当初から順調に増加し、小学校でのPRシール配布や授業での活用が開始されてからは、さらに増加傾向にある(図2)。

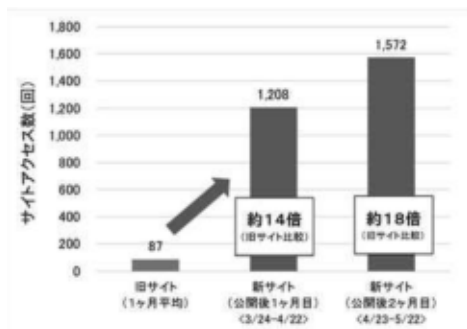


図1 1ヶ月間のサイトアクセス数 (新旧サイト比較)

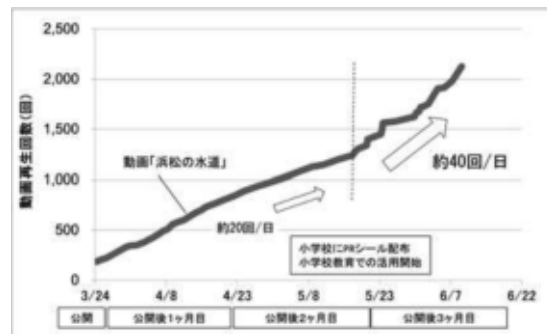


図2 動画再生回数 (動画「浜松の水道」)

6 さいごに

今回公開した新サイトは、浜松市水道事業におけるデジタル広報ツールとして重要な役割を担っている。今後も積極的なPR活動と活用を進め、市民の皆さまに触れていただく機会を増やしていく。結果として、浜松市水道事業へ対する関心を喚起し、共感を得るとともに、市民の皆さまからの理解と信頼の獲得に繋げていきたい。